

減少するアメリカの死刑

～スピーディー・ライス教授を囲んで～

日時 2月20日(金) 12:00～13:30

会場 衆議院第二議員会館第四会議室

日本と並び、いわゆる先進民主主義国の中で唯一死刑制度を持ち、運用し続けているアメリカ。しかしそのアメリカも、死刑廃止あるいは執行停止へと向かう世界の潮流と無縁ではありません。2000年代に入り、死刑執行数も死刑判決数も減少の一途をたどり、2007年末にニュージャージー州が死刑を廃止しました。人権活動とくに死刑廃止運動において著名なスピーディー・ライス教授(米国ワシントン&リー大学ロースクール、死刑廃止 NGO「デス・ペナルティー・フォーカス」理事)を招いて、アメリカの死刑最前線の情報と、死刑廃止運動の取り組みなどを共有できればと考えています。

プロフィール

スピーディー・ライス教授

現在、米国ヴァージニア州レキシントンにあるワシントン・アンド・リー大学ロースクールにおいて客員教授としてカンボジア特別法廷(ECCC。旧ポル・ポト政権時代の大量虐殺を裁く)での弁護活動を援助する実習コースを担当している。

人権、とりわけ死刑廃止に関する活動で国際的に知られており、NGO デス・ペナルティー・フォーカスの理事を務め、全米刑事弁護士協会において米国の死刑問題に関して国際的に同協会を代表する立場にある。多くの国際機関や法廷において専門家証人として人権と死刑に関する発言を行っている。

主催： 「死刑に異議あり！」キャンペーン

2008年7月、相次ぐ死刑執行に対し、死刑に反対するという抗議の声をあげるため、このキャンペーンは開始されました。以下の共同事務局を担う二団体を中心に、さまざまな団体、個人、ネットワークが加わっています。キャンペーンでは、「死刑執行の即時停止」を求めつつ、さまざまな立場の違いを超え、社会の中のさまざまな活動を互いにつなぎながら、日本社会に対し「なぜ死刑がいけないのか」について考える多様な機会を提供しようとしています。

共同事務局： アムネスティ・インターナショナル日本 & 監獄人権センター

問い合わせ先： TEL：03-3518-6777 FAX：03-3518-6778

Web サイト： <http://www.abolish-dp.jca.apc.org/>